

**宝塚大学 看護学部 看護学科 2022年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(2017~2021年度入学生科目) 旧課程**

担当教員	専任/非常勤	2022授業科目	科目ナンバー	必修/選択	単位数	時間数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
澤田 京子	専任	基礎看護学VI (看護過程)	KSP21203	必修	1	30	総合病院で看護師として内科と外科での臨床経験がある。また、企業健康管理室での健康教育に携わった。	臨床での事例を踏まえて、看護の役割・機能を教授する。また事例を用いて主な理論の活用についても教授する。
		看護教育学	KSP42101	選択	1	15		
北島 洋子	専任	基礎看護学I (概論)	KSP11101	必修	1	30	大学病院で看護師として小児科病棟に勤務し、血液疾患や悪性疾患の看護に携わった。また、腎泌尿器専門病棟に勤務し、人工透析や糖尿病の看護を経験した。	小児期から成人期、老年期にわたる各発達段階に応じた看護を提供するための、基礎的な知識と技術、看護専門職としての基礎となる考え方を修得するための学習を支援する。
		基礎看護学II (コミュニケーション論)	KSP11201	必修	1	30		
牧野 裕子	専任	基礎看護学III (健康教育)	KSP21201	必修	1	30	大学病院および公立病院看護師として、心臓血管外科、消化器外科、精神科看護の臨床経験がある。また、保健師として企業健康管理室にて従業員と家族に対する健康教育に携わってきた。	公衆衛生看護学の概要と、健康の概念および行動変容を促すために用いられる理論、健康教育の実践について教授する。
平野 加代子	専任	基礎看護学IV-1 (基礎看護技術)	KSP11202	必修	1	30	総合病院で看護師として急性期病棟(外科、内科、小児科、脳神経系) 助産師として産婦人科外来、産科病棟での臨床経験がある。また、看護学生の実習指導にも携わっていた。	臨床での事例を踏まえて基礎看護技術を教授する。また臨床で日常的に行われているフィジカルアセスメント・看護過程の展開や事例提供を行い、より臨床に近い状況を想定した授業内容を教授する。
		基礎看護学IV-2 (基礎看護技術)	KSP11203	必修	2	60		
		基礎看護学VI (看護過程)	KSP21203	必修	1	30		
梅川 奈々	専任	基礎看護学V (フィジカルアセスメント)	KSP21202	必修	1	30	看護師として、総合病院の脳神経外科、整形外科、産婦人科等での臨床経験がある。	実践で使える技術の習得に向けて、根拠をふまえた基礎知識、技術について説明を行う。デモンストレーションにも力を入れている。看護過程の展開のために必要なスキルの基礎を教授する。
瀬山 由美子	専任	基礎看護学IV-1 (基礎看護技術)	KSP11202	必修	1	30	総合病院で看護師として脳外科、内科、手術部、救命救急の臨床経験がある。また、内科、腎泌尿器科の診療所で内視鏡検査の看護を経験した。	疾患の重症度や発達段階にあわせた看護を提供するために必要な基本的知識と技術の習得を支援する。命の尊厳と心の尊重を基盤として安全で安楽な看護の修得を支援する。
		基礎看護学IV-2 (基礎看護技術)	KSP11203	必修	2	60		
		基礎看護学V (フィジカルアセスメント)	KSP21202	必修	1	30		
中川 ひろみ	専任	成人看護学I (概論)	KSP11102	必修	1	30	大学病院で看護師、認定看護師、看護部長として内科と外科、集中治療室・救急室での臨床経験がある。成人期にある人々を対象とした看護実践を教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ急性期、慢性期、終末期にある成人期の人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
		成人看護学II (急性期・回復期援助論)	KSP21204	必修	2	60		
		成人看護学III (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1	30		
		成人看護学IV (援助方法論)	KSP31301	必修	2	60		
房間 美恵	専任	成人看護学I (概論)	KSP11102	必修	1	30	総合病院で看護師、看護部長として腎臓内科や免疫内科、内分泌内科、呼吸器内科、泌尿器科などの臨床経験があり、看護学生の実習指導に携わってきた。	臨床での具体的な事例をもとに、慢性の“病い”をかかえて生きる人々がもつ課題を理解し、問題解決への取り組みができるよう看護理論を踏まえながら解説を行う。
		成人看護学II (急性期・回復期援助論)	KSP21204	必修	2	60		
		成人看護学III (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1	30		
		成人看護学IV (援助方法論)	KSP31301	必修	2	60		
國松 秀美	専任	成人看護学II (急性期・回復期援助論)	KSP21204	必修	2	60	総合病院で看護師、認定看護師、看護部長として、循環器・呼吸器内科・救命救急センター・集中治療室での臨床経験がある。シミュレーションを用いたスタッフ教育を実践してきた。また、新人看護師専任部長として、新人看護師教育に携わっている。	健康障害を持つ人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、患者の気がかりを中心とした情報を解釈・分析し、科学的根拠に基づいた看護が実践できるよう教授する。
		成人看護学III (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1	30		
		成人看護学IV (援助方法論)	KSP31301	必修	2	60		
浅井 直子	専任	成人看護学II (急性期・回復期援助論)	KSP21204	必修	2	60	看護師として医療型障害児入所施設にて、呼吸器内科の臨床経験がある。呼吸療法認定師として、スタッフ教育に携わってきた。	臨床での経験をもとに、呼吸ケアの知識や技術についての学習を支援する。
		成人看護学III (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1	30		
		成人看護学IV (援助方法論)	KSP31301	必修	2	60		
前中 夕紀	専任	成人看護学II (急性期・回復期援助論)	KSP21204	必修	2	60	看護師として、総合病院の手術室、救命救急センター等の臨床経験がある。	臨床での実践経験をもとに、周術期看護など急性期看護を中心に根拠に基づいた看護が行えるよう教授する。
		成人看護学III (慢性期・終末期援助論)	KSP21205	必修	1	30		
		成人看護学IV (援助方法論)	KSP31301	必修	2	60		
加藤 泰子	専任	老年看護学I (概論)	KSP21101	必修	1	30	公立病院の消化器外科、泌尿器科、循環器科、救命重症病棟において、看護師として臨床経験を積んだ。小児～成人期、老年期の人々への看護を実践した。また、その中でも特に、老年期にある人々の急性期～終末期に携わった。	入院・手術・治療などが高齢者の心身に与える影響について、臨床での事例を示しながら、学生がより高齢者の特徴を理解できるよう教授する。また、老いの病氣への思い、生活の困りごとなどについて、高齢者、認知症のある高齢者の実際の言葉を紹介しながら、リアリティーが感じられる講義を展開する。
		老年看護学II (疾病と障害)	KSP21102	必修	1	15		
		老年看護学III (理論とアセスメント)	KSP21206	必修	1	30		
		老年看護学IV (症状とケアプラン)	KSP31201	必修	1	30		

担当教員	専任/非常勤	2022授業科目	科目ナンバー	必修/選択	単位数	時間数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
高橋 みどり	専任	老年看護学Ⅰ（概論）	KSP21101	必修	1	30	看護師として、総合病院の手術室、外科病棟等の臨床経験がある。	臨床での経験をもとに、高齢者の生きてきた生活背景や価値観を理解することや、高齢者の喪失された機能を維持する看護について教授する。
		老年看護学Ⅱ（疾病と障害）	KSP21102	必修	1	15		
		老年看護学Ⅲ（理論とアセスメント）	KSP21206	必修	1	30		
		老年看護学Ⅳ（症状とケアプラン）	KSP31201	必修	1	30		
松尾 ひとみ	専任	小児看護学Ⅰ（概論と保健）	KSP21103	必修	1	30	看護師として、600床の民間病院で3年間外科・NICUを経験後、小児専門病院で循環器、NICU、ICU、感染症を10年経験した。実習指導者や新人指導者として、旧日本看護協会看護研修学校に進学した。教員となったからは、臨床の小児看護師との事例検討や研究の相談を行ってきた。	小児看護の実践の根拠として有益な知識や理論を教授し、初学者でも実習で理論を活用できるよう、知識と実践の統合を促進する教育方法を組み立てている。
		小児看護学Ⅲ（健康障害のある小児と家族への援助）	KSP21207	必修	1	30		
		小児看護学Ⅳ（小児のアセスメントとケア論）	KSP31302	必修	1	30		
西村 郁香	専任	小児看護学Ⅰ（概論と保健）	KSP21103	必修	1	30	公立病院において看護師として、脳神経内科の臨床経験がある。また公立専門病院において看護師として、救急部門と重症心身障がい児病棟での臨床経験がある。AHAのBLS、ACLSを活用し、病院内の講習会・地域への普及活動をしていた。	臨床での経験を踏まえ、適切な小児とその家族の看護について教授する。
		小児看護学Ⅳ（小児のアセスメントとケア論）	KSP31302	必修	1	30		
鷲尾 弘枝	専任	母性看護学Ⅰ（概論）	KSP21105	必修	1	30	大学附属病院、病院、診療所において助産師としての臨床経験がある。また、産科だけでなく、婦人科での臨床経験がある。さらに、病棟管理者として、臨床指導者として、看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ女性及び周産期にある母子の生理的変化、身体的・精神的・社会的な特徴と看護ケアについて教授する。また、臨床での事例を踏まえ、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
		母性看護学Ⅱ（女性生殖・周産期医療）	KSP21106	必修	1	15		
		母性看護学Ⅲ（周産期アセスメント）	KSP21208	必修	1	30		
		母性看護学Ⅳ（周産期ケアマネジメント）	KSP31202	必修	1	30		
関田 希	専任	母性看護学Ⅳ（周産期ケアマネジメント）	KSP31202	必修	1	30	助産師として総合周産期母子医療センター（NICU）や総合病院の産婦人科病棟、有床診療所での産科病棟や助産師外来の臨床経験がある。	臨床での経験を踏まえ、周産期の母子とその家族が持つ力を最大限発揮するための看護について、具体的に教授する。
東尾 公子	専任	母性看護学Ⅲ（周産期アセスメント）	KSP21208	必修	1	30	助産師として、総合病院の産婦人科病棟、助産師外来の臨床経験がある。	臨床での経験を踏まえ、ウェルネスの視点で周産期の対象と新生児の看護について教授する。
西垣 里志	専任	精神看護学Ⅰ（精神保健）	KSP21107	必修	1	30	精神科病院で、看護師、認定看護師としての実務経験がある。急性期、慢性期、外来、訪問、家族などを対象とした臨床経験があり、看護学生の実習指導にも携わってきた。	精神障害をもつ人々が、病をもつて生きることに生きづらさやそれを支える家族の支援について、臨床経験を踏まえ具体的な事例を通して、多面的に伝えられるように教授する。
		精神看護学Ⅱ（主な精神疾患と精神症状）	KSP21108	必修	1	15		
		精神看護学Ⅲ（施設における援助9）	KSP21209	必修	1	30		
		精神看護学Ⅳ（地域における援助）	KSP31101	必修	1	30		
桶河 華代	専任	在宅看護論Ⅰ（概論）	KSP21109	必修	1	15	大学病院で、病院看護師として脳外科病棟等で臨床経験がある。また、公立保育所で、保育所看護師として、乳幼児に対する保育や健康管理に携わる。さらに、地域で生活する人々に訪問看護師として在宅看護に携わる。	地域で生活する人々に対しての看護と多職種で共同する看護の役割を教授する。すべての年齢、疾患を対象とした健康の保持・増進と健康段階に合わせた看護の提供を教授する。
		在宅看護論Ⅱ（訪問看護の展開方法）	KSP21210	必修	1	15		
		在宅看護論Ⅲ（在宅ケアの演習）	KSP31303	必修	1	30		
		在宅看護論Ⅳ（地域ネットワーク論）	KSP31203	必修	1	30		